



令和5年8月号

「継続は力なり」

今年も、夏休み前後で学校や関係機関との連携支援会議が多く行われており、私も参加をする機会がありました。支援会議はその子の関わる機関が集まり、様々な議題で情報交換や話し合いが行われます。定期的開催がされるケースもあり、4~5年会議が続いているお子さんもいらっしゃいます。

支援会議の目的として、大きく4つあります。

- ① 支援者同士が顔の見える関係性になる⇒今後の連携がしやすくなります。
- ② それぞれの場所での子どもの姿の共有⇒同じ子もいれば、全然違う姿を見せる子も…
- ③ 子どもの強み（ストレングス）や課題となっている部分に対して、それぞれがどの様にアプローチをして行くのか⇒手段や方法を合わせる事もあれば、あえて違うやり方をする事もあります。
- ④ その子の成育歴及び将来像（5年後・10年後の姿）の確認。ある程度の方向性を合わせて行く。

①～③まではどの支援会議でも一般的に行われていく流れになりますが、④に関しては意識して議題に組み込まないと行われな事が多いです。支援会議のほとんどが学校や相談支援専門員が主催となり進めて行くのですが、私が会議の進行をするケースや事前に打ち合わせが出来る時には、④の部分を議題に入れてもらう様にしています。

理由としては、子どもを取り巻く環境（主に人）は年度毎に変わって行くケースがほとんどです。学校や支援機関でも資料としての情報は引き継がれていても、成育歴がエピソードとして伝えられる事はなかなかありません。また、子どもの将来像に関しても同様で、支援者が変わるたびにイメージの共有が必要になってきます。

私たち福祉の役割はその部分が大きいのだと考えています。支援機関が増えたり、年度で担任の先生が変わったり、就学・進学に伴って学校が変わったりと、子どもの生活の中では様々な変化が訪れます。その時に、子どもの情報を引継ぎながら、子どもの将来像を共有する事で、支援に一貫性を持って継続させる事が大切です。

会議の1番の目的は「子どもが大人になった時にどの様な姿になってもらいたいのか」を確認・共有をする事です。その上で、その目的を達成する為に今何をするのか？その子の強みや課題や困り感（本人及び周りの人たち）にどう向き合っていくのかが、みんなで話し合われると良いなと思いつながら会議に臨んでいます。

児童通所課 嵯峨憲司



7月活動報告

今年も例年通りの暑さの中、MJも夏休みを迎えました。

みなさま熱中症には十分お気をつけて、素敵な夏休みをお過ごしくださいませ！

11日 釣り大会

@あづま園

祝日は1部2部合同で外出です。今回はバッティングセンターと釣りの2本立てです。初めての子も経験者の子も、楽しんで過ごすことができました。



塩と氷を入れたら...



ひたすらシャカシャカ!

ぶどう味が好評でした



生活プログラム

1学期最終日はシャーベット作りをしました。

- ①レシピを調べてメモをとる。
- ②買い物に行く。③分量を量って作る。の工程で進めています。



夏休みプログラム ～工作編～

いよいよ夏休み本番です。暑さで外出しにくい分、室内で作業に取り組んでいます。今回は『転写コースター』と『消臭剤作り』のご紹介です。

8月は後半の夏祭りに向けて、準備を進めて行きます。



転写コースター
プリントしたイラストに除光液をつけて、木製コースターに転写します。ヴィンテージ感のある仕上がりになりました。

消臭剤作り
保冷剤に水性ペンで色を付けて、消臭剤を作りました。ラメや貝殻、疑似植物を使ってデコレーションしています。



MJからのお知らせ

- ①8月30日(水)から通常日程となりますので、利用時間が以下のように変わります。
1部：放課後～18:00
※30日、31日が夏休み期間の場合は13時半以降にご自宅にお迎えに参ります。
2部：18:00～20:00

- ②HUGにログインいただきありがとうございます。
9月からは利用予定・連絡帳等活用いたします。
今後ともよろしくお願ひします。

